

今年、「保育を楽しむために」をテーマに

5年目となる保育連続講座始まる

9月18日(火)第1回が行われました。この日は、あいにくの雨。夕方からゲリラ豪雨のような大雨に見舞われましたが、そんな中32名の参加がありました。

第1回は、高橋光幸さんの講座

「保育を楽しむとはどういうことか？」～ちょっと哲学的に考察してみる

ご自身が楽しんでいるという料理と保育には共通するところがあるという話で全体の雰囲気や和み、そこから「保育を楽しむとはどういうことか」という本題へ。

保育所保育指針に記載のある”子どもの最善の利益”とは、「保護者を含む大人の利益が優先されることへの牽制や、子どもの人権を尊重することの重要性を表している」と解説されていることをあげ、「保育園は何よりも子どもたちが今を生きることを優先する場所であり、そのためには一人ひとりの人権が尊重されなければならないこと」を意味していると話されました。さらに、「子どもには、個性が尊重され、その個性を發揮できる環境が与えられ、周囲の人々に愛され、支えられてやりたいことに熱中できることが必要不可欠であり、そういった場には楽しさがあふれていなければならない、だから保育者も楽しまなければならない」と続けられ、高橋さんが毎日書かれているクラスだよりも何通か読んでくれ、クラスだよりから、クラスや子どもたちの楽しそうな様子、保護者と築いてきた信頼関係、毎日の臨場感が伝わってきました。

保育を楽しむためには、社会を知る必要が

保育を楽しむためには、社会を知っておく必要もあると、幼児教育の無償化の話为例に、日々の保育と社会は密接につながっているの、保育だけでなく、保育の外側にある「こと」「もの」にも敏感であろう、子どもの人権が脅かされそうなことが起きていたら、立ち向かおうと続け、労働組合はそのための組織でもあることも話されていました。

最後に、保育を楽しむためには、保育の外側で起こっていることを見つめるマクロの視点と、自分と目の前の子どもたちの関係がどうあるのか、自分はどんな保育がしたいのかななどを内省するミクロの視点の両方が必要。この講座は、労働組合の役割を知り、ミクロとマクロの視点を磨くために行うものとまとめました。

その後のグループ交流では感想を話し合ったり、各職場の実情や保育について語ったりと各グループ盛り上がりしました。この講座での職場以外の人との交流は貴重な場ではないでしょうか。次回からは実践の発表もあります。少しでも「行ってみようかな～」という気持ちをお持ちの方、ぜひ気軽にお越しください。お待ちしております！



連続講座第2回目は、10月16日 テーマは「遊びを楽しもう」

当日は、実践報告をもとに、ワールドカフェ方式でグループ討議を行いました。

《実践報告》

今回は「1歳児クラスでの保育」。遊びたい気持ちいっぱいの子どもたちに対して、小グループでの活動を行なっているものの、その中でやりたい遊びが集中し…。どうしたら遊びにおける混雑を解消できるのかという悩みにどう向き合っていくかという内容でした。

ルールが理解できない子どもたちにどう伝えていくか、行動を修正していくかということを中心にせず、子どもたちとイメージを膨らませて楽しんでいくことが大事だと実感したエピソードに普段の保育の中での嬉しい！楽しい！エピソードもどんどん連想されました！

《ワールドカフェ》

今回のテーマ「子どもと保育士もあそびをたのしめたとき、楽しむためにはどうすればいい？」を書きスタート。若手保育士を中心に自己紹介、どんなクラスか、そして日頃の保育を振り返って、「楽しかったひととき」を語り合ったり、日頃の悩みを相談しあったり…。

話は、日程的に運動会のシーズンで、どんな競技を行ったか、どんな開催形式かという話題にも広がりました。

その中で「楽しかったひととき」は「大

人が楽しかった」「子どもが楽しかった」の2通りに分かれ、その2つの波長があったときに理想だという考えに至るグループもありました。「大人が楽しむ」の中には子どもと本気で遊びこむ事や大人が始めた楽しい遊びに子どもたちを誘い込むという事も含まれますが、怪我の心配や他職員の連携も必要となり、難しい…という葛藤もありますね。コミュニケーション、報連相はどんなときにも大切なものだなということを感じます。

《まとめ》

まとめでは、保育を楽しむ＝子どもを理解すること、それには、その子自身の理解も必要だが、年齢による発達をしっかりと勉強していくことや、保育内容を学んでいく必要があるということが伝わりました。自分自身の引き出しをどんどん蓄えて、子どもに適した状況で提供できる、それこそが保育を楽しむコツだという事です。

保育だけではなく労働運動においても、現場という狭い場所において流されているのは、保育情勢は全然わからないこと。自分で参加して学んでいくことで、自分が置かれている状況を理解すること。全国の行動では、全国の保育士との交流でより自分の保育観が深まっていくとまとめられました。

参加者の声

☆ 20代保育士1年目

他グループに行くと、同じテーマなのに全然ちがう話題が出ていて楽しかった。1つのこともいろんな視点で考えられました。

ワールドカフェ方式は、前回は参加させていただきました。他の人の意見や考えを聞く機会は貴重なので、とても面白く楽しかったです。

☆ 20代保育士2年目

色々な方の話を聞いたことで、自分が学生の時に学んだ事や大切にしたいと思っていたことを思い出し、過去の学びが現在に繋がりました。

